

ごあいさつ

朝霞市立朝霞第七小学校長 鈴木 康之

今年度は、児童数722名、学級数26学級（たんぼぼ学級2学級を含む）でスタートいたしました。これまでの本校の歩みを引き継ぎ、子どもたち一人一人の可能性を引き出し、個性と良さをよりよく伸ばすために、全力で教育活動を実施してまいります。

本校の学校教育目標は、「心豊かにたくましく生きる児童の育成」 ○考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子 です。学校の教育活動の中心は、授業です。毎日の授業の中で、きらりと目を輝かせ、心を動かし、わくわくするような学びを重ねてほしいと思います。今日よりも明日、明日よりも明後日と、分からなかったことが分かるようになったり、出来なかったことが出来るようになったりする経験をたくさんしてほしいと期待しています。こうした経験は、やがて自信となって学ぶ意欲や困難を乗り越える確かな学力につながっていきます。授業の工夫改善、一人一台端末の活用を推進するとともに、低学年補助教員やスクールサポーターなど、一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援を行ってまいります。また、学習に向かうことのできる環境づくりが不可欠です。実効性のある生徒指導体制を充実させ、学級活動、学校行事などの特別活動や道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む道徳授業を通じて、円滑で良好な人間関係を構築し、相互に認め合い、高め合える集団づくりに取り組んでまいります。

目指す学校像は、「**一人一人の良さを伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校**」です。全ての子どもたちには、無限の可能性があります。それを引き出し、良さを伸ばすことが将来をたくましく生き抜く力に結び付くと考えます。そのためには、学校、家庭、地域が手を携え、一体となって子どもたち一人一人に向き合うことが必要です。本校は朝霞市教育委員会からコミュニティ・スクールの指定を受けています。「地域とともにある学校」を実現できるよう、学校運営協議会の機能を学校経営に活かし、教育活動の充実に努めてまいります。本校教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。